

フォト句会 2024年2月度成績

開催日：2月13日（火）

時 間：15時30分～17時30分

出席者：7名

写真出題：安 藤

付け句；

お題写真；国分寺付近の殿ヶ谷戸公園・
旧岩崎家別邸 （出題；安藤）



付け句「殿ヶ谷戸公園」：出題：安藤

- 1) ハテここにこんな隆起が活断層 矢澤 正二
地中から突然出たような岩、地殻変動に違いない!?
- 2) 一休み ちちろ虫聴くお庭かな 大越 浩平
庭の一角で、美しい虫の音に聴き入って秋を満喫。
- 3) ムクムクとモグラが起きる春近し 矢澤 正二
地下のモグラの生活に想いを巡らせた微笑ましい句。
- 4) 石庭をふと思わせる秋の庭 大越 浩平
派手さは無いが見飽きのしない端正な庭を堪能した。

日当たりに

ピタと寄り添う

光と影

(正二)



自由題



春の海

北斎の画に

燕村の句

(昌康)

能登地震

ランプの宿よ

甦れ（勝）





大家族こりゃかなワンと道空ける（進一郎）

自由題 寸評

- 1) 日当たりにピタと寄り添う光と影 矢澤 正二
花と影の両方を並べた構図が、意外な効果を生んだ。
- 2) 春の海北斎の画に蕪村の句 松田 昌康
青と白のすっきりとした画像に格調のある句がついた。
- 3) 能登地震ランプの宿よ甦れ 清水 勝
明るい海と黒い宿のコントラストで 強い画面になった。
- 4) 大家族こりゃかなワンと道空ける 長尾進一郎
同じ仲間同士とはいえ、どう見ても多勢に無勢。